



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	89,724	0.3	2,532	45.5	2,769	47.5	1,519	77.0
29年3月期第1四半期	89,440	37.2	1,740	△13.8	1,878	△19.7	858	△25.5

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,069百万円(162.7%) 29年3月期第1四半期 787百万円(△37.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	30.04	—
29年3月期第1四半期	17.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	244,683	92,619	36.9
29年3月期	263,540	93,632	34.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 90,392百万円 29年3月期 91,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	61.00	61.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 56円00銭 記念配当 4円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	179,000	△4.6	4,100	△27.6	4,200	△28.4	2,200	△30.3	43.48
通期	425,000	4.0	16,900	5.3	17,100	3.8	10,000	6.3	197.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	50,834,700株	29年3月期	50,834,700株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	235,568株	29年3月期	235,568株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	50,599,132株	29年3月期1Q	50,300,632株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府や日銀による金融政策等を背景に、企業収益の向上や雇用情勢が改善し、緩やかな回復基調で推移致しました。一方で、海外における政治動向や、中東・アジアにおける地政学的なリスクの高まりもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界におきましては、医療・介護のダブル改定を来年に控えると共に、地域医療構想による医療機関の将来像構築の観点から、中長期的視点での投資や変革が求められております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業において大型のプロジェクト案件が下期に偏重していることから低調に推移した一方、ライフケア事業や調剤薬局事業における業績の積み上がりが順調であったこと等により増収増益で推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は89,724百万円（前年同四半期連結累計期間比0.3%増）、営業利益は2,532百万円（前年同四半期連結累計期間比45.5%増）、経常利益は2,769百万円（前年同四半期連結累計期間比47.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,519百万円（前年同四半期連結累計期間比77.0%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、病院完成案件が全体的に下期に偏重していることから、第1四半期における大型のプロジェクト案件は低調に推移いたしました。一方、介護系メーカー製品の販売が順調に推移いたしました。

この結果、売上高は13,394百万円（前年同四半期連結累計期間比11.7%減）、セグメント利益（営業利益）は1,016百万円（前年同四半期連結累計期間比6.0%増）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前期に計上のあった小西共和ホールディングン株式会社との経営統合に伴うアドバイザリー費用の影響が無くなるとともに、昨年受託が集中したSPD施設が順調に推移するようになったこと等により増益となりました。

この結果、売上高は63,335百万円（前年同四半期連結累計期間比0.8%増）、セグメント利益（営業利益）は684百万円（前年同四半期連結累計期間比134.0%増）となりました。

③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、入居が計画通り積み上がるとともに、赤字施設の運営改善等により収益が改善いたしました。

この結果、売上高は5,515百万円（前年同四半期連結累計期間比6.3%増）、セグメント利益（営業利益）は181百万円（前年同四半期連結累計期間比40.7%増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、M&Aや新規出店が奏功し、業績は順調に推移いたしました。

この結果、売上高は6,283百万円（前年同四半期連結累計期間比7.6%増）、セグメント利益（営業利益）は615百万円（前年同四半期連結累計期間比45.1%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院の運営及び理化学機器の販売が概ね計画通り進捗いたしました。また昨年グループ入りした警備系会社の業績が期初より寄与いたしました。

この結果、売上高は1,195百万円（前年同四半期連結累計期間比194.1%増）、セグメント利益（営業利益）は76百万円（前年同四半期連結累計期間比201.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は244,683百万円となり、前連結会計年度末と比べて18,856百万円減少いたしました。その主な要因は、建設仮勘定が3,264百万円、電子記録債権が1,617百万円、商品及び製品が1,333百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が27,793百万円減少したこと等によるものであります。

負債は152,064百万円となり、前連結会計年度末と比べて17,843百万円減少いたしました。その主な要因は、電子記録債務が2,384百万円、長期借入金が1,919百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が21,858百万円、未払法人税等が2,984百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は92,619百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,012百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が1,519百万円、その他有価証券評価差額金が538百万円増加した一方、配当金の支払により利益剰余金が3,035百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は36.9%（前連結会計年度末比2.2ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成29年5月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,444	48,803
受取手形及び売掛金	95,657	67,863
電子記録債権	1,920	3,538
リース投資資産	4,057	4,013
商品及び製品	11,669	13,003
仕掛品	1,328	1,971
原材料及び貯蔵品	840	959
その他	9,590	10,959
貸倒引当金	△78	△79
流動資産合計	174,430	151,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,972	14,901
土地	15,222	15,416
建設仮勘定	5,716	8,980
賃貸不動産（純額）	14,186	14,104
その他（純額）	3,385	3,347
有形固定資産合計	53,483	56,752
無形固定資産		
のれん	10,912	11,516
その他	1,296	1,237
無形固定資産合計	12,208	12,753
投資その他の資産		
長期貸付金	10,172	10,127
その他	15,793	16,575
貸倒引当金	△2,563	△2,568
投資その他の資産合計	23,402	24,135
固定資産合計	89,093	93,641
繰延資産		
株式交付費	16	8
繰延資産合計	16	8
資産合計	263,540	244,683

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,307	64,448
電子記録債務	16,192	18,577
短期借入金	2,020	1,320
未払法人税等	4,120	1,136
賞与引当金	1,905	2,602
その他	15,831	18,081
流動負債合計	126,377	106,165
固定負債		
長期借入金	36,146	38,066
退職給付に係る負債	2,548	2,618
資産除去債務	362	367
その他	4,472	4,846
固定負債合計	43,530	45,898
負債合計	169,908	152,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,716	23,716
利益剰余金	51,059	49,543
自己株式	△448	△448
株主資本合計	89,881	88,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,459	1,998
為替換算調整勘定	47	30
退職給付に係る調整累計額	△3	△1
その他の包括利益累計額合計	1,503	2,027
非支配株主持分	2,247	2,227
純資産合計	93,632	92,619
負債純資産合計	263,540	244,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	89,440	89,724
売上原価	80,246	79,959
売上総利益	9,194	9,764
販売費及び一般管理費	7,453	7,232
営業利益	1,740	2,532
営業外収益		
受取利息	81	82
受取配当金	69	82
負ののれん償却額	60	58
持分法による投資利益	12	14
貸倒引当金戻入額	25	7
その他	132	94
営業外収益合計	381	338
営業外費用		
支払利息	81	61
為替差損	90	12
その他	72	27
営業外費用合計	244	101
経常利益	1,878	2,769
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	88	—
その他	0	0
特別利益合計	88	1
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	7	3
投資有価証券評価損	28	11
その他	8	4
特別損失合計	44	22
税金等調整前四半期純利益	1,921	2,748
法人税、住民税及び事業税	1,296	1,174
法人税等調整額	△269	24
法人税等合計	1,026	1,198
四半期純利益	895	1,550
非支配株主に帰属する四半期純利益	36	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	858	1,519

四半期連結包括利益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	895	1,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	538
為替換算調整勘定	△59	△20
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	△107	519
四半期包括利益	787	2,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	750	2,043
非支配株主に係る四半期包括利益	36	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,172	62,834	5,187	5,838	89,034	406	89,440	—	89,440
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	705	611	3	458	1,778	5	1,784	△1,784	—
計	15,878	63,446	5,190	6,297	90,812	412	91,224	△1,784	89,440
セグメント利益	958	292	129	423	1,804	25	1,829	△88	1,740

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△88百万円には、セグメント間取引消去△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△82百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング(株)株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象により「メディカルサプライ事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が42,607百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング(株)株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「メディカルサプライ事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,066百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,394	63,335	5,515	6,283	88,528	1,195	89,724	—	89,724
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	371	285	45	604	1,307	20	1,328	△1,328	—
計	13,765	63,621	5,560	6,888	89,835	1,216	91,052	△1,328	89,724
セグメント利益	1,016	684	181	615	2,497	76	2,573	△41	2,532

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△41百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△42百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。